

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 9月えんだより

9月聖句：「見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください」 <ルカによる福音書 15章6節>

7月28日に発生した熊本地震から1か月が経過しました。改めて、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。2016年に発生した熊本地震から節目の年を迎え、少しずつ復興の歩みを感じられる中で再び起こった地震でした。さらに厳しい暑さが続く中、被災された方々はもちろん、支援にあたる方々も大変な日々を過ごしておられます。また、お盆の時期には千葉県でも豪雨災害が発生し、日本各地、さらには世界各地で自然災害が続いています。自然の力の前では、私たちは無力さを感じる場合があります。しかし、そのような時だからこそ、人が人を思いやり、支え合い、助け合うことの大切さを改めて感じます。

先日の地域の夏祭りで行った熊本地震支援募金活動では、多くの方々が足を止め、被災地へ思いを寄せてくださいました。神戸YMCAでも、被災地にある熊本YMCAや全国のYMCAと連携しながら、スタッフを現地へ送り続けた支援活動を行っています。どうぞ引き続きお祈りとお支えをお願いいたします。

さて、9月の聖句はイエスさまが語られた「見失った羊のたとえ」の一節です。百匹の羊を飼っている人が、そのうちの一匹を見失ったとき、どうするでしょうか。百匹のうちの一匹、わずか1パーセントです。「仕方がない」とあきらめるのではなく、その人は九十九匹を残してでも、一匹を探しに出かけます。そして見つけた時には大いに喜び、周りの人たちにもその喜びを分かち合います。この飼い主こそ、神さまです。

このたとえを通してイエスさまは、神さまが私たち一人ひとりをどれほど大切に思っておられるかを伝えてくださいました。神さまにとって私たちは、たくさんいる中の一人でもなく、取るに足りない存在でもありません。一人ひとりがかけがえのない存在として愛され、覚えられています。

また、残された九十九匹の羊たちも、「もし自分が迷ってしまったとしても、神さまは必ず探してください」という安心と信頼の中にいたのではないのでしょうか。

神さまは私たちの成果や結果、行いによって価値を決めるのではなく、その存在そのものを愛してくださいます。一人ひとりの違いや個性を認め、高価で尊い存在として受け入れてくださっています。

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の基本理念は、「誰一人取り残さない」です。この考え方は、一匹の羊を大切に探し続ける神さまのまなざしにも通じるものがあります。私たちも、自分を愛するように隣人を大切に、一人ひとりが安心して過ごせる社会や環境づくりに心を向けていきたいと思ひます。

子どもたち一人ひとりもまた、神さまから愛されているかけがえのない存在です。9月も神さまの守りと導きの中で、それぞれの個性や成長を大切にしながら歩んでまいりたいと思ひます。

年主題：「しゅイエスとともに」

年主題聖句：「主があなたと共におられる。」（ルカによる福音書 1章28節）

9月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	あそぼう／やってみる	おもしろいね／いっしょに
	- 保育者の祈りやさんびかを歌う姿を通して神さまを感じる - のびのびと過ごす中で、自分のお気に入りを見つける - 空や雲、虫の声などの秋の訪れを保育者とともに感じる - 神さまのお話を聞き、親しみをもつ - 友だちの存在に気づき、やってみたくすることが増える - 空や雲、虫の音に気づき、興味をもつ	- 保育者と一緒に絵本や絵画、また聖書を通してイエスさまの話を聞くことに親しむ - 夏の経験から「おもしろそう」「やってみたい」思いが芽生え、友だちの真似をすることや保育者や友だちと助けあって遊ぶ - 虫の声や園庭の自然の変化から季節の移ろいを感じ、驚きや感動を保育者とともにことばで表す - 礼拝の中で神さまとのつながりを感じ、祈りや賛美の喜びを分かち合い、心が満たされる - 友だちと思いをだし合い、力を合わせて活動や遊びを進め、イメージを広げていくことを楽しむ - 夏から秋へと移り変わる自然の中で心を開放し、戸外で体を十分に動かす心地よさと躍動感を楽しむ
讃美歌	どんどこどんどこ こども改106	どんどこどんどこ こども改106